



市議会だより

第1回
定例会

もくじ

定例会の概要	P 2
令和2年度予算	P 3
一般質問	P 6
議会のうごき	P11
議決結果一覧	P12



向日市

古都のむこう 魅力のふるさと

向日神社のしだれ桜

令和2年 第1回定例会

令和2年度向日市

一般会計予算など29議案を可決

令和2年第1回定例会は、2月21日から3月17日まで26日間の会期で開かれました。

本定例会では、令和2年度一般会計、特別会計5件、水道事業会計、公共下水道事業会計、合計8件の当初予算、人事1件、補正予算3件、条例の制定・一部改正14件、その他3件の29議案が市長から提出され、議員は、意見書案1件、決議案1件を提出しました。

本会議初日は、提出された議案を所管の常任委員会に付託し、活発な質疑・意見のもと慎重な審査を行いました。

本会議2日目から3日目は、15名の議員が市政に対する一般質問を行いました。

本会議最終日には、市長から追加議案1件が提出され、各常任委員長が付託された議案の審査経過と結果を報告、議員は議案に対する賛成・反対討論を行いました。採決の結果、人事議案1件に同意、議案28件、意見書案1件、決議案1件を原案可決としました。

※議決結果一覧は、P12に掲載しています。

可決された主な議案

人事議案に同意

【監査委員】

おおの 勘一郎氏 (京都市北区)

向日市観光交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について

地域の観光資源を活用した観光拠点施設として観光の振興を図るとともに、地域の活性化及び市民と来訪者との交流を促進するため、向日市観光交流センターの設置及び管理に関する基本的な事項について定めるものです。

制定の内容は、設置目的、名称及び位置、施設の構成、事業等を定めるとともに、指定管理者による管理運営に関する事項について規定するものです。

なお、この条例は、令和2年4月1日から施行されました。

令和2年度予算の使い道

(新)…新規事業、(拡)…拡大事業、(継)…継続事業

歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

- (新)和紙の特別展・国際シンポジウム開催事業 2,010万円
- (継)旧上田家住宅整備事業 123万円
- (継)(仮称)向日市観光交流センター事業 1,375万円
- (継)竹の径整備事業 1,556万円
- (新)向日市PR事業 347万円
- (継)道路整備推進事業 8億2,060万円
- (継)都市計画変更支援事業 1,633万円
- (継)地籍調査事業 565万円
- (継)JR向日町駅東口開設推進事業 2億1,950万円

人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

- (継)保育所施設環境整備事業 409万円
- (拡)病児・病後児保育事業 1,152万円
- (拡)子育て環境整備事業 3億2,044万円
- (新)乳児ロタウイルス予防接種事業 794万円
- (新)多胎妊婦健康診査支援事業 35万円
- (新)私立幼稚園入園補助金事業 77万円
- (新)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 323万円
- (新)訪問生活介護事業 11万円
- (継)地域共生社会実現サポート事業 77万円
- (拡)資源ごみ排出ルール違反対策事業 359万円
- (新)指定ごみ袋啓発事業 215万円
- (拡)新資源ごみ回収拠点整備事業 53万円
- (継)危険ブロック塀等撤去補助事業 345万円
- (拡)防災関係整備事業 227万円
- (継)浸水対策下水道事業 (和井川1号幹線整備事業) 8億1,958万円
- (継)防犯カメラ整備事業 4,212万円
- (継)下水道長寿命化事業 470万円
- (新)水道料金の見直し
- (継)水道管路の耐震化事業 3億6,748万円
- (新)校内通信ネットワーク整備事業 (令和元年度3月補正) 2億7,000万円
- (継)学校施設環境整備事業 (令和元年度3月補正) 6,653万円
- (新)パラリンピック聖火フェスティバル開催事業 200万円

信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

- (新)向日市・杭州市友好交流協議書締結35周年等記念事業 257万円
- (新)男女共同参画プラン策定事業 119万円
- (新)窓口サービス充実事業 2,482万円
- (継)新庁舎等整備事業 17億1,438万円
- (拡)“ふるさと向日市を元気に”事業 478万円

令和2年度

8 会計予算を可決

令和2年度一般会計当初予算は、『第2期ふるさと向日市創生計画』の施策の柱である「歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり」「人と暮らしに明るくやさしいまちづくり」「信頼と協働で市民の声が届くまちづくり」に沿って編成されており、前年度2号補正後予算額に比べ、12億9,960万円、6.2%増の221億1,000万円となり、これまでで最大の規模となりました。

採決に際し、6議員が賛成討論、2議員が反対討論を行いました。

要旨は次のとおりです。

なお、紙面の都合上、会派の大きい順番で掲載をしています。

討論

一般会計予算

※文責は会派及び議員にあります。

反対

中学卒業まで医療費無料を大至急

日本共産党議員団 山田 千枝子 議員

第一、新年度予算化された主な市民要望と（一）内は引き続き要望した内容 ①水道料金の値下げ。②生活道路や通学路の交通安全対策。③待機児童解消の民間園開設（育休中の兄弟姉の保育の継続）。④私立幼稚園入園補助事業（幼稚園教材費補助廃止の中止）。⑤和井川1号幹線整備の浸水対策事業。⑥寿岳夫妻の和紙文化研究の特別展や国際シンポジウムの開催。⑦各小中学校のトイレ改修（6向小雨漏り改修及び各小中学校施設改修基本計画）⑧男女共同参画プラン策定事業。

第二、予算に反対する主な理由 ①JR向日町駅東口開設推進事業は突然36階建て1000m、300戸の高層マンションと知らされた。32億円という市税の投入予定となっており、市民そっちのけの大型開発であること。②収支予測も明らかにされない観光交流センター事業。③新庁舎の展望レストランは契約内容、利用人数見込み、運営方法や収支予測も不透明であること。④家庭ごみの有料指定袋の導入を止めること。⑤3年連続値上げの高すぎる国保料であること。⑥スマートインターチェンジは必要でないこと。

第三、主な市民要望の早期実現（国への要望も含む）①新型コロナ対策の予算を大幅に組み感染防止対策や医療体制の整備、事業活動の縮小や雇用への対応、事態の変化に対応した緊急措置予算などに国に働きかけること。②安倍政権の改憲発議に反対すること。③消費税を5%に戻すよう働きかけること。④子どもの医療費無料を大至急実現すること。⑤ぐるっとむこうバスは安価な料金やルートなど市民の声を聞き改善すること。

賛成

未来に向けての道筋を示す予算

令和自民クラブ 石田 眞由美 議員

令和2年度は、安田市長の2期目が本格的にスタートし、本市が実際に大きく変化して行く姿が目に見える年となる。これまで検討、計画してきた事業を着実に実行に移すとともに、今後進めていくべき事業について検討を重ね、厳しい財政状況の中、将来の飛躍に向けて、一定の道筋を示す予算編成となっていると考える。

ふるさと向日市創生計画に沿った主要事業の中から、特に評価できる点を述べる。①「JR向日町駅東口開設推進事業」では、事業化に向け、国及び府の補助金が活用されること、そして鉄道事業者、地権者、再開発準備組合との合意形成を図るとともに事業計画作成支援を行うことで、誰もが安心・安全で、より快適に駅を利用できるようになるものと考ええる。②「子育て環境整備事業」では、保育需要の増加に対応し、保育園の新設や既設保育園の認定こども園への移行など、待機児童解消に向けた施策展開がなされている。定員拡大を通じ、安心して生み育てることができ環境整備に寄与できるものと考ええる。③「新庁舎等整備事業」では、新庁舎を室内外の環境品質を低下させることなく消費エネルギー量が大幅に削減できる建築物（ZEB・ネット・ゼロ・エネルギービル）とし、持続可能な社会に向けての環境配慮が行われている。そのための補助金も確保し財政負担を軽減する方策も取られており評価できる。引き続き事業進捗を図り、市民の皆様の利便性向上に努めていただきたい。

以上、本議案に対する賛成討論とさせていただきます。

討論

一般会計予算

賛成

全世代が安心できる事業に期待

公明党議員団 富安 輝雄 議員

特に評価できる事業として「歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり」では、和紙の特別展や手漉き紙に関する国際シンポジウムの開催、向日市観光交流センターのオープン、竹の径の保全整備、都市計画道路や幹線道路の整備、通学路の歩道整備や自転車利用環境の改善、JR向日町駅東口開設に向けた取り組みなど、本市の魅力を生かすとともに、地域資源を活かした産業の活性化などの予算が計上されている。

「人と暮らしに明るくやさしいまちづくり」では、保育園の新設等による定員の拡大や、市内2か所目の病児・病後児保育施設の開設、乳児のロタウィルス予防接種開始、多胎妊婦の方に対する妊婦健康診査の回数拡大、高齢者を対象とした保健事業と介護予防事業の一体的実施事業や、障がい者を対象者とした訪問生活介護事業、災害備蓄物資の充実や、特設公衆電話の整備、防犯カメラの設置拡大など、誰もが安心・安全・健康に暮らすことのできるまちづくりを推進するための予算が計上されている。

「信頼と協働で市民の声が届くまちづくり」では、市民の皆様の利便性の向上に努めるため、税金収納機の導入、現在建設中の市役所本館新庁舎においても、住民票の写し等の発行を行うといった、窓口サービスの充実など効率的で健全な行政運営を推進するための予算が計上されている。その他にも市民のための大切な事業が数多く盛り込まれた予算であり、それらの事業を円滑に進めるため、本議案に賛成する。

賛成

苦境下でも均衡取れた予算に賛成

MUKOKUクラブ 和島 一行 議員

令和2年度向日市一般会計歳入歳出予算総額が年々伸び続け、221億と過去最高額となる。これから大型事業が遂行される中、子育て世代やこれから母親になる方に寄り添った手厚い事業計画や障がい者、生活保護世帯の方々、生活弱者への予算も増額となる。観光面では発展途上にある本市だが観光交流センターのオープンに際し、請け負う指定管理業者、行政、議員、市民のアイデアを募りいいスタートを期待する。子どもたちの教育という面では防災関係整備事業の防災備蓄物資を活用した子どもたちへの防災意識を高める教育、そして学校施設環境整備事業の取り組みには大きく評価する。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業は健康寿命を延ばし介護状態にならない事が医療費、介護費抑制の一番の政策である。国有形文化財旧上田家住宅をしっかりと整備保存し観光ポイントとして力を入れて頂きたい。これから大きく変化することで大きなお金が動く本市。街づくりと人づくりの両面を見てバランスの取れた予算編成と評価し賛成の討論とする。



賛成

本市の変化が実感できる新年度

令和新政クラブ 小野 哲 議員

安田市政2期目の初の通年予算となる令和2年度向日市一般会計当初予算案は、歳入歳出総額それぞれ221億1,000万円と、過去最大の予算案である。本市を飛躍させるべく、スピード感を持って計画から実行へと移されるとともに、今後の事業について一定の道筋を示すための予算が計上された本市の変化が実感できる令和2年度になると期待している。評価できる取り組みとして、歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくりについては、和紙の特別展と国際シンポジウムの開催や継続事業のJR向日町東口開設事業の取り組みの進捗を高く評価している。継続事業として挙げられている(仮称)向日市観光交流センター事業、旧上田家住宅整備事業においては事業効果が十分に達成されるように財政負担と事業効果を勘案して進めることを要望する。人と暮らしに明るくやさしいまちづくりでは、小中学校のトイレ改修の取り組み、校内通信ネットワーク整備の教育環境整備およびかおりのはな保育園の開設や物集女こども園による定員拡大によって保育所の定員が大幅に拡大されることを評価する。また府営水道料金の改定に合わせて、多くの市民の負担軽減になる水道料金の見直しの提案を評価する。信頼と協働で市民の声が届くまちづくりでは、本年完成予定の新庁舎の建設費用と新庁舎における住民票等の諸証明を発行できる端末を設置する費用が計上されていることを評価している。最後に、JR向日町駅東口開設事業枠組みが固まった段階で中長期的な本市の財政見通しの提示と予算執行に際し、事業の目的を明確にし、効率的な執行を要望する。

反対

「子育て支援」の強化を求める

杉谷 伸夫 議員

「子育て支援は最優先課題」との市の方針に反した予算だ。昨年末の市民請願採択に反し、中学生の医療費無償化を先送りし、幼稚園への助成削減をおこなった。保育所持機児童は少し減ったが申請しても入所できない人が84人もいる。課題である保育士確保策をなぜ強化しないのか。懸案のJR向日町駅東口開設事業は、いつのまにか当初説明の2倍の市負担となっている。事業予算は、関係者の合意の上で責任の持てる内容の提案を見てからでなければ承認できない。生活保護ケースワーカー事件では、向日市行政全体が問われている。改革の取り組みを求める。

賛成

財政不足解消へ英知結集の予算

飛鳥井 佳子 議員

老舗のJR向日町駅の東口開設や橋上化や駅ビルの実現は当然で比較的安価であり、幸い物集女街道拡幅代替用地を活用し観光交流センター建設は駅付近の活性化に大きく寄与する。数々の子育て環境整備事業、資源ゴミ回収ステーションや防犯カメラ増、和井川1号幹線整備、男女共同参画プランのDV防止強化、「向日庵」の和紙特別展、市役所新庁舎建設と待望の展望レストラン、私の一般質問にこたえて水道料金を値下げすること等すぐれた予算であり、並々ならぬ努力をされたすべての職員の方々に感謝する。ゴミ減量へ他市のように指定ゴミ袋のサンプル配布にも感謝する。

賛成

市長は毅然と指導力を発揮せよ。

村田 光隆 議員

本市では職員による不祥事が多く、弛んでいるのではないかと。本市の危機管理体制では、解決できる能力があるとは思えない。徹底的な意識改革が必要である。また、武漢肺炎の拡大で、これから訪れるであろう経験したことのない危機を乗り越えるために、安田市長にはしっかりと毅然とした態度で、指導力を発揮して頂きたい。市は、想定外だったと言いたくないよう、最悪の事態を想定して対応して頂くことを要請する。我々議会も市民の生命を守るために、協力を惜しまない。

報告

令和2年第1回定例会において全会一致で可決した、新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急決議を、令和2年3月17日に向日市長に提出しました。



新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急決議

中華人民共和国湖北省武漢市において発生した新型コロナウイルスによる感染症(COVID-19)は、世界各地に拡大し、多くの死者・感染者が発生しており、世界保健機関(WHO)が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言するなど、国際的な脅威となっている。

我が国においては、2月25日に、政府が「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を取りまとめるなど、対策を強化しているところではあるが、感染拡大防止には厳しい局面が続いており、国民の暮らしに深刻な影響を及ぼしている。

こうした中、本市においては、安田市長を本部長とする「向日市新型コロナウイルス感染症対策本部」を本年2月4日に設置し、感染防止に全力を挙げて取り組んでいただいているところである。

しかしながら、乙訓保健所管内でも感染者が確認されるなど、予断を許さない状況にある。

よって、本市においては、市民の安心・安全を確保するため、迅速かつ適切な情報提供を行って市民の不安解消に努めるとともに、感染の拡大防止に向けて徹底した対策を講ずるなど全力を挙げて取り組むよう強く求める。また、本市議会としても、行政と連携・協力して感染の拡大防止に全力を挙げて取り組むものである。

以上、決議する。

令和2年3月17日

京都府向日市議会

令和2年度当初予算額

会計区分	予算額	前年度比
一般会計	221億1,000万円	6.2%
特別会計	国民健康保険事業	53億7,929万円 △ 6.1%
	後期高齢者医療	8億8,194万円 15.1%
	介護保険事業	47億2,832万円 5.1%
	下水道事業	— 皆減
	大字寺戸財産区	1,224万円 △ 7.9%
物集女財産区	425万円 0.6%	
水道事業会計	20億5,824万円 10.1%	
公共下水道事業会計	40億8,582万円 皆増	

万円単位で表示しているため、実際の予算額(千円単位)と一致しない場合があります。

1月に行った総務文教常任委員会と厚生常任委員会の所管事務調査の報告と、令和元年第4回定例会で採択され、本議会で市長から報告のありました請願の処理経過及び結果の報告は、紙面の関係上、次号以後にその内容を掲載する予定です。

主な質問と答弁

一般質問

あなたも議会の傍聴をしませんか？

議会の傍聴は、市民はもとよりすべての人ができます。

本会議の当日、受付で住所、氏名などを記入の上、傍聴券の交付を受けて入場することができます。

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。また、本会議は、市役所本館1階ロビー、2階休憩室、東向日別館3階のテレビモニターで生中継しています。

なお、一般質問の事項は、公共施設等で事前に公表されます。

議会事務局 931-1111 (内線318)

第1回定例会での一般質問は、3月4日・5日の2日間にわたり行われました。

質問・答弁とも1人2問までに絞り、内容を要約しましたが、詳しくは5月末頃、会議録に掲載されます。

会議録は市役所、図書館のほか、インターネットでも閲覧できます。

向日市議会ホームページへのアクセスは検索画面で

向日市議会 を入力して クリック

※質問の文責は議員にあります。

市長 子育て世帯の医療費の負担軽減を図り、本市で安心して子育てしていただける環境づくりを進めるため、令和2年度に中学生の医療費自己負担額を200円に引き下げる制度拡充ができるよう、準備を進めたい。

本市の子どもの医療費助成は、中学生が、昨年9月より1500円までの自己負担に拡充されたところである。府内でも中学生も小学生並みに自己負担200円まで拡充されているところも増えてきており、市民要望も聞いている。今後の拡充の見込みについてお尋ねする。

子どもの医療費助成について



公明党議員団
長尾美矢子議員

○その他の質問
学校図書館の充実等本市の教育について
防災メールを多言語へ

市長 本市に備蓄しているマスクは職員が市民の皆様と接する時のために確保しているものであり、現時点では市民の皆様への提供は想定していない。今回の感染症対応のような場合も含め、市としてどれくらい量のマスクを備蓄するのが良いかについて、今後、調査や検討を行いたい。

新型コロナウイルスについて、日々刻々と感染者も増え、状況が変化しているところであるが、マスク不足も深刻である。本市で備蓄されている分を市民に提供することについて、お尋ねする。

新型コロナウイルス対応について



市長 総領事館へは、挨拶と今の向日市の状況を伝えるに行った。前回から費用が5倍になったのは、参加人数が2人から3人に増えたこと、当時より物価が上昇したことから、全体的に航空券、宿泊費等が上がったためである。

今回のサラトガ市訪問に関する新聞報道の具体的説明を聞く。

国際交流について



MUKOクラブ
太田秀明議員

○その他の質問
職員逮捕事案
現消防庁舎の活用
コミバスの件 他1件

建設部長 スマートインターネットチェンジの開設は、利便性の向上はもとより、緊急搬送時の定時制確保や防災機能の向上、企業誘致による産業の振興、観光客の誘客等、多方面に渡る効果が期待できることから、本市が今後も持続的な発展を続けていくためには必要な事業である。

市民にとって必要不可欠事業なのかどうかを聞く。

スマートインターネットチェンジについて

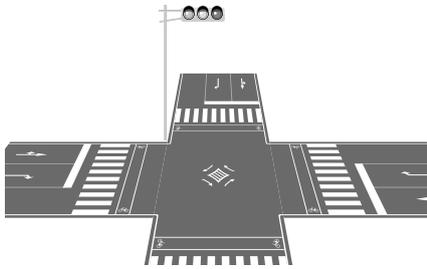


令和新政クラブ
上田雅議員

都市計画道路の進捗状況について

現在、整備が進められている物集女街道の御陵山崎線や桂寺戸線等の道路等の供用時期と進捗状況について伺う。

市長 御陵山崎線は、寺戸町事務所前を中心とした区間は完成し、令和7年度の完成を目指す。桂寺戸線は、京都市との行政界から変電所前踏切の市道第2013号線までの区間は完成し、京都市の区間整備完了予定の3月末に、本市の事業区間も供用開始の予定である。



所有者不明土地について

「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」に関する市の見解について伺う。

建設部長 所有者探索を合理化する仕組みが設けられ、公共事業の実施が可能となる等、所有者不明土地の対策が前進したが、相続登記の義務化がなされないことには、所有者不明土地の発生を防ぐことはできず、根本的な解決にはならない。



日本共産党議員団
丹野直次議員

会計年度任用職員の処遇改善は

4月から会計年度任用職員制度が施行される。会計年度任用職員の給与、諸手当などについてどのような処遇改善が図られたのか。

総務部長 フルタイム職員は、職員と同様に給料、地域手当、通勤手当、特殊勤務手当等を支給し、勤務時間が短い職員は報酬として、給料、地域手当、特殊勤務手当等の相当金額、費用弁償として通勤手当の相当金額を支給する。期末手当は、社会保険加入の会計年度任用職員を対象とし、一般職員に準じ年間2.6分と定める。

市民に役立つ公共施設を要望しては

府営住宅向日台団地の建て替え計画にあたって、敷地内に余剰地ができる予定である。そこに向日市に役立つ公共施設の要望を急いで府に求めること。

建設部長 向日台団地の建て替えは、京都府において本市の課題についてヒアリングをされたが、まだ具体的に要望をお伝えできる段階に至っていない。

○その他の質問
府環境整備事業交付金(競輪)増額要望をPFI方式の問題点は



令和自民クラブ
松本美由紀議員

子育て支援医療費助成制度について

中学生の子育て支援医療助成について、財政上問題がないようであれば自己負担額200円に拡充すべきだと考えるが、見解を尋ねる。

市長 医療費が現在の状況で推移するのであれば、制度拡充も可能であり、子育て世帯の医療費の負担軽減を図り、本市で安心して子育てしていただく環境づくりを進めるため、令和2年度に中学生の医療費自己負担額を200円に引き下げる制度拡充ができるよう準備を進めたい。

地域開発に伴うにぎわいづくり

本年10月に観光交流センターがオープンを控え、向日市役所新庁舎も建て替えが進む現在において、その両方をつなぐ府道向日町停車場線については大型車両の交通が規制されている。大型バスの交通規制について見直しをしていただきたいかがかか?

建設部長 寺戸町連合自治会から府民公募型整備事業で規制解除の提案をされ、条件付きで採択された。警察との協議で、(仮)向日市観光交流センターの開業にあわせ、規制解除の回答を得て、警察と詳細な協議に着手した。

○その他の質問
スポーツしやすい環境づくり
不妊治療・少子化対策



村田光隆議員

武漢肺炎の感染爆発に備えよ

口先だけの無能な安倍政権により、感染が拡大している。

遂次投入ではなく、思い切った対策をしなければ、国民の命を守ることはできない。

市は備蓄物資である防護服とマスクを中国へ送ってしまった。

市は、本市の医療機関でマスクは不足していないと言われるが、医療機関と高齢者施設に配布するべきではないのか。

市民サービス部長

医療機関や高齢者施設等は、国の定めた「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」等に基づき、安全管理が行われており、必要な物資の不足はお聞きして

いない。

JR京都線東側の柔軟な避難対応を

風水害時のJR京都線東側の地域に指定避難所はない。高齢者や体の不自由な方が、徒歩でJRより西側へ避難するのは困難である。対策を聞く。

環境経済部長

避難することが危険な場合や浸水深が小さい地域では2階以上の高い建物に避難する垂直避難を呼びかけている。垂直避難では身の安全が確保できない地域の高齢者や身体の不自由な方は、その方が災害時避難行動要支援者名簿に登録されているか把握し、優先的に連絡する体制整備に努めている。

○その他の質問
戦国大名齋藤道三は向日市出身!?



公明党議員団
福田正人議員

高齢者支援について

平成28年5月に施行された「成年後見制度の利用の促進に関する法律」は、認知症や単身高齢者を支えるための手段であるが、十分に利用されていないと考える。本市において、同制度を知らない高齢者の方々に対する周知啓発の対応を聞く。

市民サービス部長

市ホームページでの周知、ホームページでの周知、市役所・地域包括支援センターの窓口来訪者や公共施設で配っている「高齢者のためのガイドブック」で、成年後見制度の概要や申立ての手続き・費用、後見人報酬の助成制度等周知・啓発をしている。

食品ロス削減の取り組みについて

令和元年10月に施行された「食品ロス削減推進法」により、政府や自治体・企業の責務のほか、消費者にも役割を定め、市町村にも削減推進計画の策定義務を課している。そこで本市の考えを聞く。

市長

乙訓環境衛生組合において、ごみの成分と構成割合を調査する中で、食品ロスに特化した組成分析も行う予定であり、その結果を踏まえ、乙訓二市一町で一般廃棄物処理基本計画を進め、本市独自の食品ロス削減推進計画も他市の状況を踏まえ、取り組みたい。

○その他の質問
本市の特殊詐欺対策について伺う。



MUKOクラブ
和島一行議員

農作物と防犯灯について

第4向陽小学校付近の変電所から洛西口駅に向かう道路の2本の防犯灯が農作物の生育に影響があるということで消灯状態である。地権者の生活も確保しながら市民の安全を守る対策が必要である。

市長

再点灯に向けて、様々な対策を講じたが、光害による農作物への影響は避けられず、3月末予定の都市計画道路桂寺戸線の供用開始にあわせ、農地への影響が少ない対側の歩道に街路灯を設置することで承諾をいただいた。

教育現場の防犯カメラについて

教育現場に防犯カメラ設置は外部からの侵入者を察知し児童生徒を犯罪から守ることができる。しかし危険は外部からの侵入者だけではなくということも認識が必要である。生徒同士のトラブルも考えプライバシーを侵害しないように設置すべきと考えるが如何か。

教育部長

施設や設備対策のみで児童生徒を守ることは限界があり、学校の管理運営面での対応や、学校と保護者や地域との協力体制の確立等の取り組みが不可欠である。今後は、校長会と意見交換を行い、防犯カメラの追加配備や設置箇所の変更等も含め、学校の安全管理に万全を期す。



日本共産党議員団
米重健男議員

水道料金について

府営水の料金統一で乙訓水系の従量料金値下げがされた。料金引下げ議案が提案されている。長年の市民要求の結果である。更なる府営水料金の引下げを求めることを要望する。

市長 府営水道料金の更なる引き下げを府に求めることについて、市民の皆様のご負担を少しでも軽減できるように、今後も他の受水市町と連携し、機会あるごとに府に対し強く要望したい。



駅ビルについて

36階建ての駅ビルを含めJR向日町駅東側の整備が計画されている。100m超えと予想され地区計画の変更も必要だが、都計審で審議も決定もない。適正な手続きで市民へ説明責任を果たすべきである。森本東部に計画中の日本電産高層施設とあわせ周辺環境への影響が懸念される。市として対策を明らかにするべきではないか。

建設部長 市民の皆様への説明は、都市計画法及び向日市まちづくり条例の規定に基づき、都市計画図書の縦覧や、説明会を開催し、ご意見を伺う。今の段階で、想定のもとで市民の皆様にお知らせできるものはない。

○その他の質問
新消防庁舎について



飛鳥井佳子議員

性暴力被害のない社会作りについて

性被害による出産で幼い生命を捨てたり餓死させる事件があり、若い親の貧困や疲労やまわりに助けがない等、問題だ。地域や行政の早期発見が大事だ。女性センターに子育ての悩み相談や「もしもの時は必ず助けます」というメッセージを広く広げたい。

市長 あすもあを活用した各種相談事業を、関係団体の意見を聞きながら実施したい。また「もしもの時は必ず助けます」とメッセージが出せるよう、警察、京都府家庭支援総合センター、学校等の関係機関とのネットワーク強化を図りながら、今

後とも取り組みたい。

用水路の安全対策について

国は用水路の転落事故防止策として都道府県に全額補助をするための予算をつくったので、通水路である永田通りの寺戸川の農業用水路や鶏冠井町門戸のこの改修予算を府に要請すべきかどうか。

建設部長 整備費用を国が補助する取り組みは、小規模な用水路等すべてが補助の対象ではなく、府の農業利水施設安全対策計画に位置付ける必要があると伺っており、可能な限り補助が受けられるよう京都府と協議したい。

○その他の質問
観光交流センターにNPOセンター設置を！
阪急東向日の美化を！



日本共産党議員団
佐藤新一議員

救護施設断念から学ぶべきこと

今回の教訓は自治体が新たな事業を進めるにあたって、市民に丁寧な説明を尽くすことである。市民に理解と支持を得ることのない事業は失敗するということを示した事例として、京都市はもちろん向日市も教訓にすべきことと考えるが市長の見解はどうか。

市長 市民の皆様からのご意見を京都市及び法人にお伝えし、丁寧な説明が行われるよう求めた。本市が行う事業は、市民の皆様にとって丁寧な説明を行って、今後、新たな事業を進める際は、可能な限り多くの人の理解が得られるよう努力したい。

市民の暮らしを守るために

国保にしかない、均等割と平等割を無くすべきである。せめて18歳未満の子供さんがおられる国民健康保険料の均等割を8割軽減し、少しでも子育て世帯の応援をしてはどうか。

市民サービス部長 本市の国民健康保険運営協議会で、国保に加入していない市民の皆様との公平性の観点から、多額の法定外繰入れを続けることは理解を得られないこと、他の施策に影響を及ぼすことが懸念されると意見をいただいております。行すべきではないと考える。

○その他の質問
市民に愛され喜ばれるコミュニティバスにするために



杉谷伸夫議員

公立保育所の設備 サービスの改善を

本市の公立保育所は設置から長年が経過し施設・設備の老朽化や新しいサービスへの対応の面で課題が出てきている。子どもたちの安全や保護者の負担軽減など、施設・設備・サービスの改善を求める保護者の要望にどう応えていく予定か。

市民サービス部長 令和2年度は、第1保育所の経年劣化したデスクパネルの取替や第5保育所の避難用滑り台の修繕等を行う予定である。布団のリース等の要望は、近隣市の状況等を確認し、意見交換を重ねて検討したい。

職員を追い詰めた 本市行政の責任

昨年6月に生活保護担当の若手職員が死体遺棄事件に追い込まれた原因は、警察との連携や異動希望など、職員が発していたSOSを見逃ごし、法で定められた対応をせず、孤立させてしまった向日市行政組織の不作為ではないか。

副市長 ケースワーカーを生活保護業務の中で孤立させた原因は、適切な組織的対応が行われなかったことであるが、不当要求の芽を摘むことなく、追い詰める、守り切れなかったことに自責の念に駆られる。検証委員会や今後予定の分限懲戒審査会の結果を真摯に受け止めなければならない。
○その他の質問
地球温暖化対策に本腰を入れて取り組むことを求める



日本共産党議員団
北林智子議員

子どもの医療費 助成拡充を

2019年12月議会で、「子どもの医療費助成を速やかに中学生まで無料に」の請願が採択された。また、共産党議員団は、「子どもの医療費を速やかに中学校まで無料にする緊急申し入れ」を1月21日に提出した。市長は、請願が採択された事をどう受け止め、いつ実施されようとしているのかを問う。

市長 請願が採択されたことは、認識している。子育て世帯の医療費の負担軽減を図り、安心して子育てできる環境づくりを進めるため、令和2年度に中学生の医療費自己負担額を200円に引き下げ

る制度拡充ができるよう、準備を進めたい。

第2留守家庭児童 会の増築事業等は

入会児童数が増加傾向にあることから増築事業が進められているが、工事は遅れていると聞いている。新年度の入会児童数の見込みと増築事業の進捗状況を問う。

教育部長 新年度の入会児童数は、昨年度とほぼ同様の120名程度と見込んでおり、夏季入会児童数の増加に対応できるように、2クラス分の増築事業を、夏休み開始を目指して進めている。

○その他の質問
向日市の保育行政
災害時の避難所の課題



日本共産党議員団
常盤ゆかり議員

歴史遺産の保存 活用について

約400年前から西国街道沿いにあった向日神社門前の旅籠・富永屋が解体された。老朽化、修繕・保存の公的補助がなく、所有者の負担が大きかったことが主な理由である。歴史的価値のあるものについて、市独自の補助制度を作ってはどうか。

ふるさと創生推進部長 建造物に価値があるとしても、市として何を判断基準とするか、大変難しいため、文化財指定がされていない個人所有の建造物の修復、修繕に係る補助制度の創設は、現在のところ難しい。

ひきこもり支援 について

長年のひきこもりから抜け、社会参加の第一歩としての居場所づくりが課題となっている。市として居場所づくり等の施策や、社会参加を応援する団体・個人へ、積極的な支援体制を求めるが、いかがか。

市民サービス部長 自立相談支援機関である社会福祉協議会とともに、ひきこもり状態にある方やその家族、関係機関からの相談を確実に受け止め、ひきこもり状態の背景となる多様な事情やそれぞれの心情に寄り添った支援を実施したい。
○その他の質問
子宮頸がんワクチン接種及びコロナ対策・相談窓口について



日本共産党議員団
山田千枝子議員

納得できない(仮) 観光交流センター

(仮)観光交流センターの説明会に2回参加。地域住民の声は「ひと月に1から2回のバスが入るだけ」「建物ありき、この規模では市民しか来ない」「費用対効果も考えない」と等噴出。センターの収支予測と指定管理者の撤退や経営が赤字になれば補填をしたり、財政的リスクはないのか。

ふるさと創生推進部長

センターの運営経費は、センターの収益でまかない、万が一、市から支出する維持管理費相当の費用とセンターの収益合計が、センター運営にかかる経費を下回った場合の赤字部分は、指定管理者の

負担となるため、市の財政的リスクは生じない。

有料袋よりも資源 ごみ回収拡充を

地球温暖化対策の一環で、ごみを減らしていくのは当然。「ごみ問題を考える会」が有料指定袋の導入は認められないと市長に賛同署名を提出。市民合意をどうするか。有料指定袋を止めて頂きたい。

市長

指定袋の導入は、パブリックコメントや説明会、広報や街頭啓発などを通じ、丁寧で分かりやすい説明と十分な周知に努めていく中で合意形成を図り、市民の皆様のご協力を求めていきたい。

その他の質問

ケースワーカー事件の市の責任は重大
サラトガ訪問旅費は

議会のスケジュール

27日	26日	25日	17日	16日	13日	11日	10日	9日	6日	5日	4日	3日	3月	21日	17日	13日	7日	6日	5日	4日	2月	29日	24日	23日	20日	16日	14日	1月	
乙訓消防組合議会	乙訓福祉施設事務組合議会	乙訓環境衛生組合議会	本会議 最終日	議会代表者会議	議会運営委員会	議会運営委員会	総務文教常任委員会	建設環境常任委員会	厚生常任委員会	議員定数等・議会改革特別委員会	議会運営委員会	本会議 第3日(一般質問)	本会議 第2日(一般質問)	公共施設のあり方特別委員会	議会運営委員会	まちづくり特別委員会	議員全員協議会	本会議 第1日(第1回定例会)											

第2回 定例会の 予定

5月25日(月)	本会議(提出議案等の説明)
6月 5日(金)	本会議(一般質問)
8日(月)	本会議(一般質問)
9日(火)	本会議(予備日)
11日(木)	厚生常任委員会
12日(金)	建設環境常任委員会
15日(月)	総務文教常任委員会
18日(木)	本会議(議案等の討論・採決)

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。
なお、議案の内容は本会議初日の翌日にホームページに公開されます。お問い合わせは議会事務局まで。
議会事務局 931-1111(内線318)

編集 後記

今議会は、新型コロナウイルスによる感染の状況が日々刻々と変化する中での開会になり、議場や委員会室ではマスクの着用、消毒薬がおかれまして。新型コロナウイルスでお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りし罹患された方や感染によって困難な状況におられる方の一日も早い回復、この状況の収束を願っております。
今後さらにさまざまな影響が及ぶことが予測されます。

私ども議会も決議をし、命を守り市民を守るため、今できる最善のことに努めてまいりたいと思います。
今回は令和2年の予算を中心に多くの議案を審議しました。今後皆さまの声を届けてまいります。

〈議会だより編集委員会〉

議決結果一覧

○=賛成、×=反対、退=退席、除=除斥 ※議長(天野)は、可否同数以外は採決に加わりません。

番号	件名	議決結果	日本共産党議員団					令和自民クラブ				公明党議員団			MUKOクラブ		令和新政クラブ		無党派			
			丹野	北林	山田	常盤	佐藤	米重	天野	松本	石田	永井	福田	富安	長尾	太田	和島	上田	小野	杉谷	飛鳥井	村田
賛否が分かれた(除斥含む)議案等																						
議案1	令和2年度向日市一般会計予算	原案可決	×	×	×	×	×	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案2	令和2年度向日市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	×	×	×	×	×	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案3	令和2年度向日市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	×	×	×	×	×	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案4	令和2年度向日市介護保険事業特別会計予算	原案可決	×	×	×	×	×	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案10	向日市観光交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決	×	×	×	×	×	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案11	向日市営駐車場設置条例の制定について	原案可決	×	×	×	×	×	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案17	向日市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	×	×	×	×	×	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案19	向日市公共下水道条例の一部改正について	原案可決	×	×	×	×	×	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案29	監査委員の選任について(大野 勸一郎氏)	同意	×	×	×	×	×	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全会一致(全議員賛成)																						
議案5	令和2年度大字寺戸財産区特別会計予算	原案可決																				
議案6	令和2年度物集女財産区特別会計予算	原案可決																				
議案7	令和2年度向日市水道事業会計予算	原案可決																				
議案8	令和2年度向日市公共下水道事業会計予算	原案可決																				
議案9	向日市森林整備等基金条例の制定について	原案可決																				
議案12	向日市生産緑地地区の区域の規模に関する条例の制定について	原案可決																				
議案13	向日市印鑑条例の一部改正について	原案可決																				
議案14	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	原案可決																				
議案15	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	原案可決																				
議案16	向日市営住宅管理条例の一部改正について	原案可決																				
議案18	向日市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正について	原案可決																				
議案20	向日市上下水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	原案可決																				
議案21	向日市水道事業給水管理条例の一部改正について	原案可決																				
議案22	向日市民会館の設置及び管理に関する条例の廃止について	原案可決																				
議案23	令和元年度向日市一般会計補正予算(第6号)	原案可決																				
議案24	令和元年度向日市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決																				
議案25	令和元年度大字寺戸財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決																				
議案26	市道路線の認定について	原案可決																				
議案27	財産(史跡乙訓古墳群)の取得について	原案可決																				
議案28	財産(大字寺戸財産区有財産)の処分について	原案可決																				
意見書1	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書	原案可決																				
決議1	新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急決議	原案可決																				

※議案等の内容は、向日市議会ホームページ「議案・議決結果」で公開しています。